

## 創刊の辞

村井資長

恵泉女学園大学は、一九八八年四月人文学部のもと、日本文化と英米文化の二学科制で発足した。日本のほとんどすべての大学も短大も、それぞれの機関の研究・学界活動の発表誌として、大学紀要が定期的に刊行されている。学問研究を大きな使命とする大学が、その関係教職員のための研究発表機関誌として、学部紀要を発行することに異論をさしはさむものではないが、その内容の吟味については、充分の検討が必要ではなからうか。

恵泉女学園大学の大学紀要が独自の内容と特徴をもって、恵泉女学園の学問と教育姿勢を明らかにするものであってほしい。また関係教職員の研究活動は、国内外に広く流通性をもつべきであり、大学紀要が専門学界誌の亜流であったり、自己満足的なものであってはならないと思う。

創刊号の発刊にあたり愚見の一端を述べたが、本創刊号の発行にあたっては、委員長山本教授をはじめ紀要委員各位のなみなみならぬご苦勞があり、ここに心から感謝申し上げます。